

平成 23 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

今年度は法人が目指す3年後のビジョン『亀望会で働けることに価値を見出し、誇りを持つ』にむかってその1年目として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

特に介護人材確保が困難な近年、福祉の世界も組織体制、キャリアアップ制度の構築、人財育成のカリキュラムの充実など強く求められている中、当法人では経営コンサルタントと協働し、積極的に基盤づくりに取り組みました。このような流れを的確につかみ進めてきたことは、中央区北部地域包括支援センターの受託ができた、要因のひとつであったと思われまます。質の高いサービスを提供するため、さらに職員の人財育成に力を入れ、「わたしが主人公」を研修方針として掲げ、昨年よりレベルアップした内容となり、このことは平成24年度の新入介護職員の確保につながることができました。併せて、昨年度に引き続き、介護職員処遇改善交付金の支給を行い、賃金をあげました。

業務改善の「アクションプラン」については、職員一人ひとりに意識の定着がみられ、一段と充実した内容となり、各部署全体のモチベーションがあがったことは、今後更なるレベルアップにつながるきざしが見えました。

また、地域の方々に、身近な施設として利用していただけるよう「こすもすカフェ」を開店し、今まで以上に地域の方々に積極的に関わることで、信頼関係が深まり、地域における福祉サービスの中心的な担い手として、更に一歩進んだと確信しています。

また、東日本大震災以降、防災に関しての機運が高まっている中、大阪府のマニュアル等を参考にし、当法人のマニュアル作成にも取り組み、特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑においては、『緊急入所施設』として、ケアハウスコスモスガーデンにおいては『福祉避難所』として、西区との契約を締結しました。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成23年度は「個別ケアの充実」を目標として、自分らしく生活を送っていただけるよう配慮し、満足度の高いサービスが提供できる取り組みをおこないました。また、施設にて最後を迎えていただく看取りケアについても、14名の入所者を看取らせていただきました。※平成23年度退所者24名（内死亡者21名、長期入院3名）

(1) 生活支援

①生活相談

入所者本人及び家族からの相談や苦情に対し迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活がその人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を本人、家族、職員に伝えることで本人らしい生活を送っていただけるように努めました。

③地域貢献の視点

地域貢献及び地域交流の取り組みとして、1階多目的スペースを地域喫茶として開放し、地域住民の皆様にご利用頂きました。

地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすとともに、多方面から実習生を受け入れ、また、受け入れに関するマニュアル作成等にも力を入れて取り組みました。

④顧客の視点

認知症ケアについて、その人らしい個別的なプランに基づくケアを目標に、新たな観察方法や記録の仕方について学び、それを実践することができました。

入浴のあり方について、入浴検討委員会を発足し、現在おこなっている入浴ケアの課題を中心にケアの改善にむけた取り組みを計画的に進めてきました。

⑤財務の視点

排せつ方法や排せつ物品の見直しを定期的におこなえる仕組み作りとして、排せつ委員会を発足し、個人にあった排せつケアの見直しを図ることで個別的な排せつ方法の確立、排せつ物品の削減など経費削減へとつなげることができました。

⑥業務プロセスの視点

パソコンを有効に活用した他職種間での情報共有や業務の効率化の実現について、パソコン委員会が中心となり基本的な機能の使い方を学び、他職員に対して伝達指導を行いました。

⑦人財育成の視点

介護職員へ「医療的ケアの研修」を看護職員がおこない、胃ろうや吸引方法等を指導伝達し、現場での実践に活かすことができました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、介護職員への医療的な知識を積極的に指導伝達するとともに、職種間コミュニケーションの場とし、連携強化に努めました。

看取りケアにおいては、施設で穏やかな最期を迎えていただけるよう、すべての職種が連携し支援しました。

医療処置が必要な要介護者の増加にともない、24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、それに対する介護職員への医療的な知識及び実技を指導伝達することで入所者への安全なケアの提供に繋がる努力を行いました。

(3) 栄養管理

前年に引き続き、夏場の「冷やし素麺」、冬場の「鍋料理」と、今年も少人数でゆったりと落ち着いた雰囲気で食事を楽しんでいただきました。普段、口数の少ない方が若かりし頃の話やご家族の話を聞いたりし、新たな一面を拝見することができました。

そのように知りえた情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かすことができました。

地域貢献及び地域交流の取り組みとして、地域住民を対象とした喫茶「こすもすカフェ」を月1回のペースで開催しました。回数を重ねるごとに利用者数も増加し、地域住民の憩いの場として、またコスモス苑をより身近に感じていただけるようになりました。

(4) その他の取り組み

①環境整備

入所者により良い環境を提供するために、居室の空調をガスから電気へ変更し、冷房・暖房を居室にて利用できるように変更しました。

蛍光灯からLEDに変更できる場所の取替や、使用していない蛍光灯をこまめに消灯することにより電気使用量の削減に努めました。

②安全対策

各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、業務改善や研修の機会を増やすことにより質の高いサービスを提供できるよう取り組みました。

その結果、大きな事故等もなく「在宅支援」という大きな目標を達成し、利用者やその家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

行事やレクリエーションに参加された時の活動風景や表情を写真に撮り、退所時にご家族にお渡しすることで施設での様子を知ってもらい、喜びの声をいただくなどの評価を得ることができました。また、緊急入所の依頼に対しても積極的に受け入れ、対応困難な方が利用する時には担当者も泊まるなど工夫して、少しでも多くの方に利用していただける努力を行い、利用者数の増加に繋がりました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

西区唯一の通所介護365日営業も7年目を迎え、利用者・介護支援専門員を含め地域に認知されてきた結果として、平日や土日祝日を問わず多くの方に利用していただくことができました。内訳では、前年にも増して要支援者が減少し、要介護者が増加しているなかで、特養併設の施設としてサービスの需要に対応することができました。

危惧されている「認知症高齢者の増加」に対応するために、積極的に勉強会を実施し、高齢者の身体と心の理解を深めることで介護職員及び看護職員のレベルアップを実現することができました。

次年度は、法令遵守はもちろん利用者・家族のニーズをしっかりと把握することで、柔軟な対応が可能な地域の事業所として満足度の向上と信頼を積み上げていきます。

(3) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け、6年が経過しました。

ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きくなっている事には変わりはありませんが、地域の認知度も少しずつですが高まっています。

西区地域包括支援センターや地域各種関係者との連携、および地域活動については地域のいきいき教室に参加したり、大阪市委託事業である家族介護者教室を、西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々との交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

昨年度は達成できた評価基準ですが、今年度は相談件数が少なく委託料の確保が出来ませんでした。次年度は相談件数を伸ばすためにも、更に積極的な地域活動を行う必要があります。

居宅介護支援事業としては、高齢者人口の少ない西区において、月平均約120件の要支援・要介護ケースを確保できた事は大いに評価できる内容でした。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

(4) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

年間延べ利用者数は3,939名、月平均328名と利用者数は決して多くはないですが、今年度も職員がやりがいと楽しみを持って仕事ができるよう研修会や勉強会に取り組んだ結果、利用者のニーズに対応できる質の高いサービスが実施できたと共に、職員間のチームワークも非常に高くなりました。

次年度も引き続きより多くの利用者に満足していただけるよう取り組んでいきます。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。また、昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、特に感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、日常生活に何らかの支援が必要な方もおられ、支援が必要になっても住み慣れた施設（環境）で暮らし続けたいという思いを達成するため、平成23年度は個別ニーズに対応できる体制を築きました。また、きつこう会多根総合病院をはじめ医療機関、亀望会各事業所等の介護保険サービス事業者との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

地域貢献、地域交流の取り組みとして、創立記念祭や敬老祝賀会の際に地域老人クラブの会員様を招待し、また、地域の方々がクラブ活動（書道クラブ）に参加して頂くことで、地域に暮らす高齢者とも交流を深めました。

(2) 顧客の視点

要介護入所者の支援を通じて、施設生活継続のための具体的な支援策の検討、実施により、重度化対策に取り組み、平成24年度へつながる取り組みができました。

また、個別支援計画の立案、実施に向けて定期個別訪問や個別ケース会議を実施しました。

(3) 財務の視点

職員がそれぞれコスト意識を高めることにより予算の範囲での支出執行ができました。また、江之子島コスモス苑との連携により保守点検取引業者の見直しを行い、業者の共通化と経費節減に取り組みました。

一方、サービス有料化の方向性は大阪市健康福祉局との調整も踏まえて、平成24年度以降の課題として持ち越しました。

(4) 業務プロセスの視点

ケアハウスの役割を「住み替えの高齢者を受け入れる」ことを明確にした上で、入所される時点で自立した高齢者を優先的に受け入れました。また、入所されてからの重度化対策は法人内事業所連携も含めて生活継続支援を主眼に取り組みました。

(5) 人財育成の視点

業務の役割分担の明確化および主担副担制導入により職員の仕事に対する責任感とやりがいを持たせる取り組みを行いました。

また、職員が、重度化対策の延長上であるターミナルケアや死に対する研修、権利擁護、特に成年後見制度等の研修を積極的に受講し、スキルアップを図りました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況（H23.4.1～H24.3.31）

ア. 平均年齢 全体 男女別（H24.3.31現在）

男性	18名・84.6歳	女性	86名・88.0歳	平均年齢	104名・86.3歳
----	-----------	----	-----------	------	------------

イ. 日常生活動作調査（対象者104名）（H24.3.31現在）

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	8	38	58	32	39	33	6	22	76	0	18	86	6	19	79

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症 老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	10	25	69	29	35	40	37	25	42	7	31	66	98

ウ. 年間延べ利用者数合計等（人）

年間延べ利用者数合計		36,673
介護 度 別	要介護度1	730
	要介護度2	936
	要介護度3	7,143
	要介護度4	12,084
	要介護度5	15,780
年間延べ入院及び外泊者数		988
年間延べ空床数（床）		403
年間退所者数		24

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成23年 4月2日	地域のお花見	島津公園で桜の花を観ながらお弁当を食べ、地域の方々と楽しい一時を過ごしました。(3名)
4月9日	土佐稲荷神社へ お花見	土佐稲荷神社にお参りをしたあと、公園内の桜を見て気分転換をしていただきました。(3名)
5月11日 12・13・23日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園を散歩しながらバラを鑑賞し、ゆっくりとした時間を過ごしていただきました。(12名)
6月8日	大阪城	大阪城の天守閣から観る景色を喜ばれ、館内の展示物もゆっくり観ておられました、昼食もどれにしようか迷いながらも楽しめました。(5名)
6月16日	鉄板まつり	たこ焼き・焼きそば等を目の前で焼くのを見ながら、楽しい雰囲気の中で召し上がって頂きました。
7月19日 27日	たちばな(寿司)	好きなメニューを選んでいただき、景色を観ながら昼食を楽しまれていました。(4名)
7月14日	子供みこし	施設の前で子供みこしを披露していただき、地域の方とのふれ合いを楽しめました。
8月19日 20・24・25日	地域の盆踊り	地域における盆踊りに参加し、地域行事に触れ楽しんでいただきました。(12名)
8月27日	夏祭り	模擬店や盆踊り等を催し、ボランティアの協力を得て入所者及び家族、関係者の皆様に楽しんでいただきました。
9月2日 ～14日	西区高齢者施設 合同展示会	展示会に向けてみんなで作品を作り、仕上げる楽しみと協力し合う喜びでよい作品ができました。
9月6・8日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月28日	低カロリーバイ キング	弁天町近くのホテル内にてお好きな物をお好きなだけ食べられるバイキングに行き楽しまれました。(2名)
9月15日	敬老祝賀会	歌手の藤かほりさんを招き、みなさんご存じの民謡や踊りを観て楽しめました。
10月7日	通天閣 づぼらや	大阪で有名な「づぼらや」で食事をしたあと、通天閣に登り、景色やビリケンさんを観て楽しまれました。(8名)
11月25日 26・28日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
12月15日 16・20日	クリスマス会	職員が入所者に合ったプレゼントを選び、レクリエーションやステーキを食べるなど楽しく過ごされました。

12月27日	もちつき会	もちつきを見ながら、和やかな雰囲気の中でおもちを召し上がっていただきました。
平成24年 1月1日	新年祝賀会	施設長の挨拶をはじめ、おせち料理やお屠蘇でお祝いをしました。
1月7日 14日	初詣	茨住吉神社へ初詣に行きました。お参りをすると気分が新たになり、リフレッシュした様子でした。(6名)
2月3日	節分	鬼に扮した職員にボールをぶつけ、昔ながらの節分の雰囲気を楽しみ厄払いをしました。
3月11日	フラダンス	外は寒く外出が出来ないため、施設内でも楽しめるボランティアによるフラダンスを行いました。
3月21日	やまぐち	料亭やまぐちに行き、落ち着いた雰囲気の中で好きな物を選び、召し上がっていただきました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
9名	10名	15名	25名	15名	19名	11名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
2名	0名	0名	8名	5名	7名	82名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	1名	0名	3名	100名

ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年 月 日	内 容	備 考
平成23年4月25日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成23年6月29日	自衛消防訓練(3F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成23年10月26日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

①短期入所生活介護（ショートステイ）

年間延べ利用者数等（H23. 4. 1～H24. 3. 31）

開設日数（日）	366	
実利用人数（人）	671	
年間延べ利用者数合計（人）	5,117	
介護度別内訳	要支援1（人）	0
	要支援2（人）	0
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	262
	要介護度2（人）	838
	要介護度3（人）	1,709
	要介護度4（人）	1,065
要介護度5（人）	1,243	
1日平均利用者数（人）	14.0	
送迎（回）	2,162	
平均介護度	3.55	

②通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数 等（H23. 4. 1～H24. 3. 31）

開設日数（日）	363	
実利用者数（人）	1,420	
年間延べ利用者数合計（人）	10,039	
介護度別内訳	要支援1（人）	162
	要支援2（人）	1,465
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	1,245
	要介護度2（人）	3,289
	要介護度3（人）	2,162
	要介護度4（人）	1,262
要介護度5（人）	454	
1日平均利用者数（人）	27.6	
送迎（回）	19,118	
入浴（回）	9,035	
給食（食）	9,931	
平均介護度	2.57	

※台風のため3日間休業

イ. 実利用者数月毎推移表（H23. 4. 1～H24. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	119	115	123	122	120	116	119	118	122	117	118	111

ウ. 利用者の状況 (H24. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合 計
合 計	41	24	46	0	111

エ. 主な行事

- ・お花見 (土佐稲荷神社) : 4月4日 (月) ~ 4月16日 (土)
- ・お好み外出 (鞆公園) : 5月9日 (月) ~ 5月25日 (水)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 6月6日 (月) ~ 6月12日 (日)
- ・七夕週間 : 7月1日 (金) ~ 7月7日 (木)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 7月11日 (月) ~ 7月17日 (日)
- ・夏祭り週間 : 8月15日 (月) ~ 8月21日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 9月5日 (月) ~ 9月11日 (日)
- ・敬老週間 : 9月19日 (月) ~ 9月25日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 10月16日 (日) ~ 10月23日 (日)
- ・運動会 : 10月10日 (月) ~ 10月16日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 11月7日 (月) ~ 11月13日 (日)
- ・年忘れ演芸会 : 12月19日 (月) ~ 12月25日 (日)
- ・初詣 (茨住吉神社) : 1月2日 (月) ~ 1月12日 (木)
- ・節分 : 1月30日 (月) ~ 2月5日 (日)

オ. 誕生日会

- ・毎月開催 (利用者の氏名入りハンドタオルとメッセージカードをプレゼントする。)

カ. クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方(書道・ペン習字)、運動、娯楽の各クラブ活動を実施

③在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況 (H23. 4. 1~H24. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
相談延件数	11	5	9	6	8	11	15	8	10	13	8	33	137	11.4

イ. 相談内容 (H23. 4. 1~H24. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題					1								1	0.2
経済・生活問題							1					15	16	2.7
介護サービス	11	5	9	3		6	2	7	5	13	7	15	82	6.8
介護予防サービス				3	5	3	7				1	3	22	1.8
介護予防事業														
福祉サービス														
保健医療サービス							5						5	0.4
虐待														
成年後見制度					2								2	0.2
生きがいづくり														
その他						2		1	5				8	0.7
合 計	11	5	9	6	8	11	15	8	10	13	8	33	137	11.4

(2) 居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)		1, 4 3 1
介護度別内訳	要支援 1 (人)	8 1
	要支援 2 (人)	2 0 9
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度 1 (人)	2 1 8
	要介護度 2 (人)	4 3 4
	要介護度 3 (人)	2 4 2
	要介護度 4 (人)	1 7 5
要介護度 5 (人)	7 2	

④訪問介護 (ホームヘルプサービス)

ア. 年間延べ利用者数 等 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

開設日数 (日)		2 5 9
実利用人数 (人)		4 8 7
生活援助 (時間)		3, 3 1 3. 5
身体介護 (時間)		1, 2 9 7. 5
派遣時間合計 (時間)		4, 6 1 1. 0
年間延べ利用者数合計 (人)		3, 9 3 9
介護度別内訳	要支援 1 (人)	1, 0 7 4
	要支援 2 (人)	1, 2 8 9
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度 1 (人)	4 7 3
	要介護度 2 (人)	7 9 5
	要介護度 3 (人)	1 2 6
	要介護度 4 (人)	1 6 6
要介護度 5 (人)	1 6	

イ. 平均年齢 全体 男女別 (H24. 3. 31現在)

男性	7名・80.1歳	女性	32名・84.2歳	男女平均年齢	39名・83.5歳
----	----------	----	-----------	--------	-----------

ウ. 利用者の状況 (H24. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合 計
合 計	30	5	4	0	0	39

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

	入所者	職員	合 計
年間合計	1, 258	56名	1, 314
月平均	104. 8	4. 7	109. 5

イ. 健康診断実施状況 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

	入所者	職員	ケアハウス	合 計
年間合計	225名	167名	26名	418名
月平均	18. 8	13. 9	2. 2	34. 9

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

入所者	100名	職員	118名	ケアハウス	0名	職員家族	37名	合計	255名
-----	------	----	------	-------	----	------	-----	----	------

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 入所者の状況 (H24. 3. 31現在)

平均年齢

全体	82.6歳	男性 (8名)	80.9歳	女性 (30名)	83.1歳
----	-------	---------	-------	----------	-------

イ. 日常生活動作調査 (対象者38名)

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具使用	自立	一部介助	全部介助	普通	やや不自由	不自由	自立	一部介助	全部介助
実数 (名)	29	9	38	0	0	38	0	0	33	5	0

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表 (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
6名	2名	6名	11名	13名

年間外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	0名	5名	18名	14名

エ. 主な行事

- 4月 創立記念行事 行楽弁当
- 5月 端午の節句&菖蒲湯
- 6月 バイキングランチ
- 7月 七夕&祭事食 ステーキランチ
- 8月 納涼祭
- 9月 長寿お祝い会 お月見 結核健診
- 10月 健康診断 自衛消防訓練 行楽弁当 鶴橋風月 スポーツ大会
- 11月 おでんバイキング 寿司ランチ 外出ランチ
- 12月 人権研修 クリスマスパーティ 餅つき 年越しそば
- 1月 新年御礼会 七草粥 小正月 鏡開き&かるた取り大会
- 2月 節分 寿司ランチ
- 3月 ひな祭り&祭事食 自衛消防訓練 ステーキランチ お茶会

オ. その他

- ・誕生日会 和みカフェ (年2回お茶会) 移動図書館 健康相談会: 月1回
- ・映画会 健康体操: 月2回 (椅子・床)
- ・行事食 (セレクトメニュー、バイキング料理含む)
- ・焼きたてパン 鍋料理 (冬期): 月2回
- ・活動クラブ 書道、手芸、カラオケ、麻雀

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成23年 4月19日	利用者のプライバシー保護の取組みについて	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計55名
5月17日	救急救命法について	救命処置について、医師より具体的な方法を学ぶ	施設長以下計55名
6月21日	食中毒予防、まん延について	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下計55名
7月19日	接遇マナーについて	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計58名
9月20日	福祉職員としての対人援助について	対人援助の基本、方法を学ぶ	施設長以下計44名
10月19日	感染症について	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計61名
11月15日	認知症について	認知症の症状、対応を学ぶ	施設長以下計52名
12月上旬	人権研修	ビデオ鑑賞	施設長以下計85名
平成24年 1月17日	高齢者施設における防災の取組について	非常災害時を想定し危機管理と防災の取組を学ぶ	施設長以下計52名
2月21日	メンタルヘルスについて	管理者のメンタルヘルスと対応を学ぶ	施設長以下計51名
3月13日	事故防止について	事故防止事例検討会を行う	施設長以下計49名

・施設内研修（専門職研修）

介護看護職員研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成23年 4月19日	ターミナルケアについて	高齢者の看取りケアを学ぶ	介護・看護職員 計54名
6月21日	事故防止について	介護のリスクマネジメントの基礎知識と事故防止対策を学ぶ	介護・看護職員 計62名
8月16日	PEGについて	PEGの取り扱いを学ぶ	介護・看護職員 計39名
12月6日	リハビリについて	日常介護での注意点を学ぶ	施設長以下 計34名
平成24年 2月21日	身体拘束排除について	身体拘束廃止の取組を学ぶ	施設長以下 計49名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

主に4月入職の職員について3月30日に実施。入職前に業務内容について学ぶ。計5名受講。

②中堅職員研修

階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員）

1クール1日 計6名が受講。

2) 中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員）

1クール3日間（うち、他部署1日研修1日含む）計6名が受講。

3) 中堅職員研修Ⅲ（入職5年以上の常勤職員）

1クール1日 計6名が受講。

③相談員研修

相談業務従事者17名に対し、年6回実施。延参加者人数計65名受講。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市健康福祉局など計136回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

摘 要	人 数
ホーム喫茶（毎水曜日）	2名
おもちゃ作り	6名
夏祭り	40名
敬老会	2名
フラダンス	16名
もちつき（大阪トヨペット株式会社）	2名
ボランティア体験（市社協）	2名

②通所介護

花見（土佐稲荷神社8日間）	のべ18名
お好み外出（鞆公園5日間）	のべ9名
夏祭り（盆踊り7日間）	のべ21名
施設夏祭り（付き添い）	7名
初詣（茨住吉神社8日間）	のべ12名
演歌・舞踊（6回）	1名
ひとり語り（1回）	1名
うた楽バンド（歌謡・童謡）（6回）	2名
うた体操（24回）	3名
大阪市の歴史語り（8回）	3名
民謡（三味線・尺八）（6回）	1名

民謡（三味線・太鼓）（4回）	5名
民謡（三味線）（2回）	10名
民謡（三味線）（2回）	2名
落語（3回）	1名
ヨガ体操（8回）	3名
腹話術（1回）	1名
歌謡曲（6回）	1名
沖縄民謡（1回）	5名
ハンドマッサージ（1回）	9名
ボランティア体験（市社協）	3名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	23名	社会福祉士
関西福祉科学大学	1名	23名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	23名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	12名	180名	介護福祉士
(社団)大阪市母と子の共励会	4名	12名	ホームヘルパー2級
5機関	22名	261名	—

・体験学習

平成23年 11月16日～17日 大阪市立花乃井中学校 2年生 4名
平成24年 2月16日～17日 大阪市立西中学校 2年生 5名

・その他

介護等体験（大阪府社会福祉協議会紹介：小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護等体験）
日本大学1名（7日間）・法政大学1名（5日間）・慶応義塾大学1名（7日間）

(3) 寄付金状況（平成23年度分：日付順）

①コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成23年 4月 7日	松岡 榮様	入所者 家族	160,000	特養の運営費に充当
平成23年 5月24日	再起 カヨコ様	入所者 家族	50,000	特養の運営費に充当
平成23年 8月27日	西区民生委員協議会様 白國 哲司様	理事	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	木村 和子様	評議員	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	エルハ ^o ロワイヤル16振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当

平成23年 8月27日	江戸堀連合振興町会様	地 域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	江戸堀連合 坂本様	地 域	3,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	広教連合振興町会様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	広教地域ネットワーク推進員 中島様	地 域	3,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	大阪プラットフォームクラブ様 竹田 房子様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年 8月27日	西区健康づくり推進協議会 コスモス会様	地 域	100,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成23年12月13日	(株)ライフプラン様	法 人	200,000	特養の運営費に充当
平成23年12月21日	大阪市民生委員・児童委員 連盟西区支部様	法 人	30,000	特養の運営費に充当
平成24年 1月26日	住友生命保険相互会社様	法 人	70,000	特養の運営費に充当
平成24年 2月 6日	吉田 安雄様	利用者 家 族	100,000	通所介護の運営費に 充当

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	金 額	備 考
平成23年4月24日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成23年9月24日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(4) 寄付物品(平成23年度分：日付順)

①コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成23年 4月27日	吉田様	入所者 後見人	クッション	特養で使用
平成23年10月17日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 5カートン	特養入所者に配布
平成23年11月10日	広教連合振興町会様	地 域	バスタオル	特養で使用
平成24年 1月11日	ピップ株式会社様	法 人	うなずき かぼちゃん	特養で使用
平成24年 2月 4日	株式会社 大正銀行様	法 人	血圧計2個	特養・通所介護で使 用

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	物品名・個数	備 考
平成23年10月14日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 3カートン	入所者に配布
平成24年 2月1日	株式会社大正銀行様	法 人	血圧計2個	入所者に利用
平成24年 2月17日	木下大サーカス様	法 人	入場券6枚	入所者に配布